

コウセラ



【講師】内田学先生  
東京医療学院大学 准教授  
理学療法士



座学

実技

基礎編と実践編の2日間

2 days

# 姿勢と呼吸から介入する 摂食・嚥下リハビリテーション

今回のコウセラセミナーは理学療法士で摂食・嚥下に関して第一線で活躍されている東京医療学院大学 准教授の内田学先生による2日間の摂食嚥下のセミナーです。

効果的な摂食嚥下行為における評価と介入を行うために、姿勢・呼吸・活動といった視点は大変重要であることは周知の事実であります。今回は脳卒中患者に出現する摂食・嚥下障害について姿勢や呼吸という観点から2日間じっくりと臨床的な内容を学習できます。

**1日目は座学中心の基礎編！！ 2日目は実技がある実践編！！**

※1日のみでも受講可能（1日のみでも臨床上、十分に役立つ内容となっています）

＜以下のような方にオススメです＞

『嚥下リハビリテーションに関しての姿勢・呼吸・活動の視点を学びたい』 『嚥下リハビリテーションを基礎から学びたい』 『現場に言語聴覚士（ST）がいないため、摂食嚥下障害に関してアドバイスを受けることができない』 『全身的・包括的に摂食嚥下障害を捉え、具体的な介入方法（姿勢介入・呼吸介入・作業介入）を学びたい』 『摂食嚥下に関して正しいポジショニングを学びたい』

【日時】

1日目（基礎編）：2019年6月 2日（日）10時-16時

2日目（実践編）：2019年6月30日（日）10時-16時

【会場】両日とも：鎌倉芸術館（JR大船駅 徒歩10分）

【定員】基礎編：40名、実践編：30名（先着順）

【受講費】1日目：7000円、2日目：9000円

両日申し込み：14000円

【対象】ST・PT・OT・看護師

【講師】内田学先生

（東京医療学院大学准教授、理学療法士）

「姿勢から介入する摂食嚥下」「理学療法実践  
レクチャー 栄養・嚥下理学療法」他執筆多数



1日目（座学中心）

- ①姿勢調節機構と嚥下機能
- ②片麻痺患者の嚥下障害発生メカニズム
- ③姿勢異常と嚥下障害
- ④姿勢調節から判定する嚥下機能評価
- ⑤呼吸調節機構と嚥下機能
- ⑥呼吸調節から判定する嚥下機能評価
- ⑦非麻痺側上肢の活動から判定する嚥下機能評価
- ⑧具体的な介入手法（姿勢介入・呼吸介入・作業介入）

2日目（実技中心）

- ①姿勢調節機構・呼吸調節と嚥下機能
- ②嚥下機能評価（実技：姿勢・呼吸・非麻痺側上肢）
- ③姿勢から介入する嚥下リハビリテーション
- ④呼吸から介入する嚥下リハビリテーション
- ⑤活動から介入する嚥下リハビリテーション
- ⑥ポジショニングの考え方
- ⑦ポジショニングで介入する嚥下リハビリテーション

詳細・お申し込み  
はホームページより



コウセラ



で検索

